

AYA世代の がん知って

オンラインで

来月11日講座

15歳以上39歳未満の若者世代(AYA世代)のがんについて、治療や課題などを学ぶ市民公開講座が2月11日午後1時から、オンライン会議システムを使って行われる。

岡山大が事務局を務め、中国・四国地方の11大学やがん診療連携拠点病院でつくる「中

国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム」が主催する。

国立がん研究センターの統計によると、AYA世代のがん患者は全国で年間約2万人とされ、全患者の3%程度と少なく支援体制が十分ではない。闘病が進学、就職、結婚など人生の節目と重なるなど特有の悩みも多い。

講座では当事者が悩みや期待される支援について語るほか、岡山

大大学院保健学研究科の中塚幹也教授が妊娠や出産を巡る問題について説明する。岡山大病院医師による最新治療の解説もある。

聴講無料。希望者は2月1日までに、氏名(ふりがな)、メールアドレス、電話番号を明記してメール(anpro@adm.okayama-u.ac.jp)で申し込む。定員は450人で先着順。